

平成23年度インターンシップ

名古屋大学 資源生物科学科

実習先：東海農政局  
(消費・安全部消費生活課 食育推進班)

# 目次

- 消費・安全部消費生活課について
- 実習内容
  1. 広報新聞のレイアウト
  2. 現地調査とその記事づくり
  3. 名古屋大学の農場への連絡業務
  4. 企画書づくり
- 全体を通して

# 消費・安全部消費生活課について

## 食育の推進

### ・ 第2次食育推進基本計画

～「周知」から「実践」へ～

- 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数  
の増加(内閣府、文部科学省)
- メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切  
な食事、運動等を継続的に実践している国民の割合  
の増加(厚生労働省)
- よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある  
国民の割合の増加(厚生労働省)
- 農林漁業体験を経験した国民の割合の増加(農林水  
産省)

- 農林水産省の取組

- 米を中心とした「日本型食生活」の推進
- 食料自給率に関する国民への情報発信等
- 農林漁業に関する体験活動の推進

→教育ファーム

- 地産地消の推進
- 食品廃棄物の発生抑制や再利用等の促進
- 食に関する様々な情報提供等の推進



## 2. 現地調査とその記事づくり

### ・季の野の森の農楽隊(美浜町)

稲の観察

彼岸花の前で記念撮影

ゴマの収穫

バームクーヘン・熊笹茶づくり

↓ゴマの実



↑ヤギと遊ぶ子供達



↑バームクーヘンづくり



↑熊笹茶づくり

# ・稲刈り体験(西尾市立福地北部小学校)

稲刈り・脱穀

# ・一人暮らしの食育実践セミナー(ウィルあいち)

料理教室



←稲刈り体験

上:稲刈り、下:脱穀



↓一人暮らしの食育実践セミナー

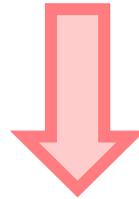
「いわしの蒲焼丼」調理中



現地に取材に行く

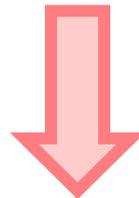
写真撮影

参加者の方や主催者・講師の先生の話聞く



記事を書く

使用する写真の選定



ホームページや広報新聞に載せてもらう

## [感想]

- 幅広い年齢層の人やさまざまな立場の方とのコミュニケーション
- 自分自身も参加者に混じっているいろんな体験をさせてもらった
- 行事の開催は天候に左右されやすく、予定が変動しやすい
- 理系ではあるが、文章力が大切

### 3. 名古屋大学の農場への連絡業務

愛知学院大学の学生が一日農業体験がしたい



その受入が可能かどうかの確認の電話をする

#### [感想]

- 他の実習と違い、自分一人で相手から必要な情報を聞き出さなければならない

## 4. 企画書づくり

教育ファームスタディinとうかいの企画書を作成

### [感想]

- 定められた時間・場所
- 農産物が対象となるため、季節を考慮しなければならない
- 決められた条件の中で今までにない新しいものを考え出す

# 全体を通して

- どんな実習でも下準備が必要不可欠  
Ex.) 車の手配、カメラの充電、忘れた人のためのエプロン・三角巾の準備  
いろんなところに気を配らなければならない
- JAや学校、地方の役所との連携
- 職場は思った以上に堅苦しくなく、楽しく実習ができた
- それぞれの方がそれぞれの目的や目標をもって業務に就いていた
- 実践的なことをやらせてもらえて、密度の濃い経験ができた